

講座 秋田栄養短期大学公開講座 参加者募集

秋田栄養短期大学では毎年県内各地で公開講座を開催し、今年は西木地区で開催されます。

「栗のおいしさの秘密を探る」をテーマにした講義と調理実習が行われます。どなたでも自由に参加できます。午前の部、午後の部と2回開催されますが、内容はどちらも同じですので、ご希望の時間帯にお申し込みください。

◆日時／3月15日（火）

午前の部 受付9時30分～

講座9時50分～13時

午後の部 受付13時～

講座13時20分から16時30分

◆内容／講演第一部「栗の栄養」

第二部「栗のイメージと嗜好について」

調理実習「栗のリゾット・栗入りおはぎ」

◆会場／西木保健センター

（西木町門屋字屋敷田84）

◆持ち物／エプロン、三角巾、筆記用具

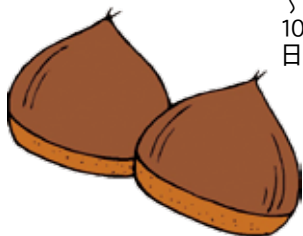
◆定員／午前、午後各部共に15人ずつ

（定員になり次第締切）

◆申込期間／3月3日～10日

◆問合せ／西木公民館

☎（47） 3100



お知らせ

田沢湖図書館

ミニギャラリーでああなたの作品を披露しませんか？

田沢湖図書館2階の多目的ホールが整備されました。ゆつくりとしたスペースをギャラリーとして、市民の皆さんに開放します。あなただけの作品を展示してみませんか。

●1展示につき最長2週間まで

●ミニギャラリーなので作品は絵画・手芸・短歌など、文化的要素の小作品に限りま

す。詳しくは田沢湖図書館へおたずねください。

◆問合せ／

☎（43） 1307



Books

田沢湖図書館

話題の本「ご存じですか？」

「体脂肪計タニタの社員食堂」 第1弾・第2弾



500kcal のまんぷく定食をご紹介します。ぜひおかず作りの参考にしてみてください。

Books

学習資料館

新着図書

新潮社から寄贈された図書を紹介します。

単行本

- ・オレ様国家・中国の常識（宮崎正弘）
 - ・フォールト・ライズ（ラグラム・ラジャン）
 - ・工学部ヒロノ教授（今野浩）
 - ・ドローラ節子の和ごころのおもてなし（節子・クロソフスカ・ド・ローラ）
 - ・食べる旅 韓国むかしの味（平松洋子）
 - ・「患者様」が医療を壊す（岩田健太郎）
 - ・週刊とりあたまニュース（西原理恵子／佐藤優）
 - ・しづ子（川村蘭太）
 - ・知らなかった自分がわかる生まれ順診断BOOK（島田裕巳）
 - ・女子芸人（神田茜）
 - ・新神戸 愛と野望の殺人（西村京太郎）
 - ・百万遍 流転回転 上・下巻（花村萬月）
 - ・きことわ（朝吹真理子）
 - ・苦役列車（西村賢太）
 - ・田辺聖子の古典まんだら 上・下（田辺聖子）
 - ・トモスイ（高樹のぶ子）
 - ・村上春樹 雑文集（村上春樹）
 - ・雪の練習生（多和田葉子）
 - ・四畳半王国見聞録（森見登美彦）
- 新書
- ・冤罪の軌跡（井上安正）
 - ・人間の往生（大井玄）
 - ・迷えるものの禅修業（ネルケ無方）
 - ・やめないう（三浦和良）
- 新潮社文庫新刊も多数寄贈されています。このほかたくさんのお新着図書が入ってきています。

休館日

イベント交流館 ☎ 43-3333

7日（月）、14日（月）、22日（火）、28日（月）

学習資料館 ☎ 43-3333

1日（火・月末休館日）、7日（月）、14日（月）、21日（月）、22日（火・振替休館日）、28日（月）、31日（木）

田沢湖図書館 ☎ 43-1307

7日（月）、14日（月）、21日（月・春分の日）、22日（火・振替休館日）、28日（月）

学習資料館

絵本の修理を学びました！

1月26日、今年度2回目の県立図書館出前講座が学習資料館で行われました。内容は本の修理の方法で、講師は秋田県立図書館の図書資料班の職員の皆さんです。

講座には、学校の図書館ボランティアや保育園関係者が多数参加し、絵本などの修理を中心に、皆さん熱心に受講していました。



「渡邊家住宅主屋」 国の登録有形文化財に登録

仙北市で3件目の国登録有形文化財として、角館町横町の「渡邊家住宅主屋」が登録されました。

渡邊家住宅は、秋田市立体育館を設計した建築家・渡辺豊和さんの実家で、明治後期に建てたとされています。木造2階建てで、玄関正面に「こもせ」と呼ばれる下屋を備え、角館で伝統的な表構えを残す数少ない町家です。



2月13日、20日の2日間 伝統の「雛（ひな）菓子づくり」 に挑戦

冬期間一般公開している昭和初期の建物、旧石黒（恵）家で、桃の節句にちなんだ伝統の「雛菓子づくり」が行われました。参加者は、講師の相馬栄さんと相馬順子さん（白石在住）から指導を受けながら「ゆべし」づくりや古い木型での梅や桃の餅菓子づくりに挑戦しましたが、次々にできあがるお菓子を前に感動の声が聞かれました。

また、合間を縫って行われたお雛様のお供え物やハマグリを用いた雛遊びのお話、最後は参加者全員で試食し大変好評でした。文化財課では、こうした地域の伝統食体験を今後も行うことにしています。



フィルムコミッション（F・C）

が映画やドラマのロケ支援をする組織だということはだいぶ周知されてきました。しかしまだ、「資金提供をしてロケを呼んでいる」と誤解をしている方もいるようです。ではF・Cの役割は何なのでしょう。

F・Cに求められる条件は3つあります。

1. 非営利の公的機関であること。F・Cの支援に金銭のやり取りはありません。
2. ロケ地の相談や撮影許可、エキストラの手配など、撮影に関する相談を一括して受ける窓口であること。
3. 作品内容を問わないこと。ロケの依頼先の施設が断ることはあっても、F・Cがそれぞれの作品を支援するかわからないかの線引きは行いません。



かくだてフィルムコミッション（仙北市観光課内）

☎ 43-3352 <http://kakunodate-fc.jp/>

では、このような役割をしていく中で、どうしたらロケ地として選ばれるのか。ロケ地の相談を受けた際、「F・Cが制作側のイメージ通りの場所を的確に紹介すること。これが撮影決定に結びつきます。

私たち「かくだてF・C」は、ジャパンフィルムコミッション（J・F・C）の研修を受け、また求められる上記の3つの条件を満たしていると認められた、全国で数少ないJ・F・C認定F・Cのひとつとして活動しています。